

1 序論

(1) 合併の経緯

人口減少や少子高齢化といった社会経済情勢の変化に対応し、地方分権を担う基礎的自治体としての行財政基盤を確立するため、平成11年以降、全国的に市町村合併が積極的に推進され、県内でも多くの市町村で合併に向けた協議が進められました。

関市、洞戸村、板取村、武芸川町、武儀町、上之保村（以下「1市2町3村」という。）は、地理的に一体であり、生活全般において繋がりが強く、ごみ処理や消防、介護認定業務など、一部事務組合による広域行政も展開していました。これらの背景から、1市2町3村は生活圏の拡大に則した住民サービスの推進、自立性のある強固な自治体の構築、そして今後の社会状況を克服できる安定した行財政基盤の確立を目指して、平成17年2月7日に合併しました。

(2) 検証の目的

合併以来、本市は新市の速やかな一体化を進め、1市2町3村それぞれの魅力を活かしたまちづくりに取り組んできました。合併後20年が経過し、新市建設計画の期間が終了したことから、合併後の本市の状況を総合的に検証し、その結果を今後のまちづくりに役立てることを目的とします。